

会議録（要点筆記）【案】

会議名	令和4年度 第3回伊吹山を守る自然再生協議会入山協力金事業部会 兼 入山協力金制度検証会議
開催日時	令和5年2月27日（月）午後2時～午後4時50分
開催場所	米原市役所本庁舎 3階 会議室3E +web環境(ZOOM)
出席者および欠席者	(敬称略) 【部会員】 出席者：庁舎出席7人、web環境0人 伊吹山もりびとの会（西澤）、伊吹山ネイチャーネットワーク（中井）、上野自治会事務局（高橋）、日本自動車道（株）（水谷）、関ヶ原町地域振興課（難波）、米原市市民部自治環境課（瀧上）、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課（辻田） 委任状：0人 欠席者：2人…山頂山小屋組合（松井）、滋賀県湖北環境事務所（内藤） 【顧問】 出席者：庁舎1人、web環境1人 青木、高柳（web） 欠席者：2人…野間、柳沢、須藤（web） 【事務局】 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課鳥獣対策室（清水） 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課（長坂・仲川・中川） 米原市市民部自治環境課（大塚・鎌田） 【傍聴者】0人
議題	議事 ・第1号議案 令和5年度伊吹山入山協力金事業計画書および予算書について 入山協力金制度検証会議 ・調査研究結果の共有 ・看板デザイン（素案）について ・クラウドファンディングについて
結論	議事 ・第1号議案 令和5年度伊吹山入山協力金事業計画書および予算書賛成多数により承認 <主な修正事項> ・6月末の鹿の追出しは夕方ではなく朝に実施する。 ・メッシュは15cm目、φ5以下で、丈夫さと重さの兼ねいで検討する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・花のゆりかご試作は8個から2個に減らし、協力金収入等の兼合いで検討する。 <p>入山協力金制度検証会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板について、「取り戻したい光景」の写真に撮影の年月と場所を入れること、整備前後が分かる写真を活用することとし、板を運ぶ写真はやめることとする。 ・大看板について、山小屋利用について記載する場合はその詳細の分かるサイトのQRコードの活用、車中泊について記載することを検討することとする。 ・クラウドファンディングについては、全体会で全体構想における位置づけを協議することとなった。
部会長	<p>1. 部会長あいさつ</p> <p>2. 議事</p>
事務局	<p>※第1号議案 令和5年度伊吹山入山協力金事業計画書および予算書について説明</p>
委員	<p>【山頂の植物保護について】</p> <p>以前テレビでウサギの歯が鋭く、ネットを噛みちぎると報道されていた。また、生息していても中々見つかりにくいとも言っていた。伊吹山でもそういうことがあるのではないか。</p>
顧問	<p>ウサギはフンや食痕でいればすぐに分かる。伊吹山ではあまりいないのではないか。</p>
事務局	<p>昨年、目撃したが…。</p>
顧問	<p>ウサギはきれいに切ったような食痕なので、見ればわかる。伐採造林地を拠点に増えることがあり、伊吹山は元々生息適地と思われるが、最近増えているかどうかは分からない。また、貴重植物との関係性もほとんど研究されていない。イヌワシが狩りの対象にするなど、悪いことばかりでもないので、あまり気にしなくてよいと考える。</p>
委員	<p>シモツケソウ再生試験地の拡充は、今まで担当されていた会に任せる方がいいのではないか？</p>

委員	うちとしては、特に気にしない。
委員	ドライブウェイの通行料は保全作業でも有料なのか？だとすると、ボランティアへの謝礼がそれに消えてしまうのでは。
委員	区分けが難しく、通行時間内の通行については回数券で支払ってもらっている。
事務局	ボランティア謝礼とは別に、回数券を見込んでいる。なるべく車をまとめるようにしたいとは考えている。
委員	6月の鹿の追出しは、夕方にやるのか？
顧問	朝でも夕方でも、鹿にはあまり影響がない。安全に実施できるかどうか、人が集まれるかどうかの方が重要。
委員	来訪者の安全を考えると、朝の方が良い。
事務局	夕方ではなく、朝に修正する。
顧問	調査人数について、イブキレイジンソウは5グループ位作れるとよい。
事務局	安全リスク管理のため、グループ数を増やすよりは、回数を増やすようにしたい。
顧問	花のゆりかごについて、種名の記載は盗掘リスクをよく考えたほうがいいのか。
顧問	盗掘はする人は、どんな風にしても盗るときは盗る。
顧問	あまりにピンポイントになるので、もう少し広い、たとえば2m×2mのメッシュを活用するなど、私としても考えたい。
顧問	メッシュ柵は、φ6は重いのでφ3-4程度でよい。ただし、細いと5年位で錆びて破損するかもしれない。目合いは15cm目でよい。

事務局	中央柵の金属柵化について、スケジュールはどのような予定か。
事務局	4月に入札執行、5月着工、6月中旬完工を目標としている。
顧問	では、5月に助言に入れるよう、土、日、月、火で調整願いたい。旧ユカエル部についても、指導に入るようにする。
委員	山頂の中央の金属柵化について、構造をもっと簡単にできないか。
顧問	大変な作業になるが、守れる構造でなければ意味が無いので、このままがよい。
顧問	オオバギボウシ柵について、どのような予定か知っているか？
事務局	生涯学習課所管のため、連絡するよう申し伝える。
顧問	【3合目について】 3合目の柵について、森林内のネット柵について書かれていないが、金属柵化しないのか。林縁には貴重な植物が多い。
事務局	ここに記載しているのは、R5に金属柵化を実施するために検討するのに必要な部分のみである。
委員	【登山道整備、斜面について】 避難小屋へのノートの設置など、要望があるのはよく分かる。だが、登山者のニーズにすべて答えていくのは大変。きれいにしておけばそれでいいのではないか？
事務局	確かにすべてに対応するのは大変だが、可能な限り応えたい。
委員	市事業の予算の見込みはどうか？市が予定している南面对策事業についても、今日触れたほうがいいのか？
部会長	市事業については、今般の議会で議論いただくところ。
事務局	市が予定している南面对策事業は、すべて市の単費であるため本日の議題

	にはしていないが、予定としては前回の12月20日から変わらない。
委員	もう少しまくいった場合、入山協力金で事業を実施する予定はあるか？
事務局	うまくいくかどうか分からない段階であり、当面考えられない。
委員	斜面の計測等を行い、場所ごとに合致した方法を考えた方がいいのではないか。長いスパンで考えるべき。
委員	今後、県でも調査ができないか検討していきたいが、もし実施できるとしてもR6年度に実施方法に係る調査を実施することになり、実際の施工を考えられるのはそれ以降になる。
部会長	(採決、賛成多数により承認)
	<p>3. 入山協力金制度検証会議</p> <p>※調査研究結果の共有、看板デザイン(素案)、クラウドファンディングについて事務局から説明</p> <p>【看板について】</p>
委員	看板について、お花畑の写真を見た人が、今もこの写真のような光景を勘違いしないようにした方がよい。
委員	日付と場所を入れるといいのではないか。
委員	写真について、板を設置する工法は結果的に良くなかったもので、その際の写真を使うのはいかなものか。
事務局	大勢で作業に従事し、かつ顔が映りこんでいるのが職員のみという観点で選んだものであるが、こだわりはないので、別の写真を選ぶこととする。
顧問	大看板について、山小屋は利用できるのか？
委員	できる。

顧問	<p>山小屋利用のための詳細の分かるサイトに誘導するといいいのではないか。QRコードの活用がよい。また、車中泊についてドライブウェイと相談の上、記載したほうがよい。</p> <p>写真については、整備前後が分かる写真を活用するのがよい。</p> <p>【クラウドファンディングについて】</p>
委員	<p>クラウドファンディングではなく滋賀県が実施するように要望すべきではないのか。それこそが広報になると思うが。</p>
事務局	<p>滋賀県には、米原市からは強く要望をしている（が、小規模柵の要望が全然通らなかつたような状況である）。</p> <p>クラウドファンディングについては、20万円に設定しているが、達成率が2倍、3倍となることを期待している。</p>
顧問	<p>広報になるという点が大きい。市や県が税金で事業を実施するといっても雑誌ではとりあげてもらえない。クラウドファンディングについては、雑誌等で取りあげてもらえると、20万円くらいはすぐに達成できるだろう。</p>
委員	<p>20万円位では、手間に見合わないのでは。事務が大変である。また、それ位も工面できないのかという印象を受けてしまうのではないか。</p>
事務局	<p>霊仙山では、ふるさと納税を活用しなかつたケースでは、集まったのは5万円程度だった。伊吹山で広報をしっかりとやれば、それなりにはなると思う。ただ、ガイドウォークは事前調整に手間がかかることもあり実施は難しく、今年度はガイドブック等のリターンまでと考えている。</p>
委員	<p>象徴的な生き物を扱くと、多額の寄付が集まることもある。</p> <p>クラウドファンディングについては、寄付下さる方とのコミュニケーションが大切になるが、誰が担うか想定はしているか。</p>
事務局	<p>当面は、市の担当が行うことになるだろう。</p>
顧問	<p>入山協力金とクラウドファンディングの区分けについて、全体会で議論してから進めるべき。入山協力金を支払っている人が、なぜクラウドファンディングも実施しているのか理解できないといけない。クラウドファンディン</p>

	<p>グを実施しているから協力金を払わなくていいとなったら困る。</p> <p>入山協力金は登山者の施設や広い範囲の植物群落を保護するために使い、クラウドファンディングはスポットで貴重植物の保護に使う、等と明確に分けることが必要ではないか。</p> <p>リターンについては、実施した結果、どのような効果が表れるかが大切。</p>
顧問	<p>全体構想において、柵の設置にかかる経費、斜面にかかる経費などを算出して、そこから税金でやること、クラウドファンディングでやること、入山協力金でやることの分担を決めなければならない。</p>
委員	<p>クラウドファンディングについては、全体会で議論をし、検討するのがよいのではないか。県と市、青木先生で事前の検討を行いたい。</p>
事務局	<p>全体会で、全体構想における位置づけを議論する場合、市では荷が重く県の負担になると考えるので、主に県で検討をお願いしたい。</p> <p>1000万円単位の話をしていると数十万円は少額に思えるかもしれないが、大きな金額である。調査回数を増やすという話もあり、クラウドファンディングを実施しないということになれば、協力金のやり繰りのため、入山協力金での花のゆりかご試作は8個から2個に改めさせていただきたい。年度途中で協力金の収入状況等を見ながら、増やせるかどうか検討したい。</p>
部会長	<p>クラウドファンディングについて全体会議で議論を行うこと、試作品を8個から2個に減らすことについて、異議は無いか。</p>
部会員	<p>(異議なし)</p>
部会長	<p>4. その他</p> <p>(伊吹山もりびとの会さんの「2022 文化で滋賀を元気に！賞（百名山伊吹山の花を救おう文化賞）」の受賞についてご紹介)</p>
委員	<p>(あいさつ)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>